

第4回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 4th Student Formula SAE Competition of Japan



社団法人 自動車技術会
会長 大久保 宣夫

大久保宣夫

今年で4回目を迎える全日本学生フォーミュラ大会は、海外からの3チームも含めて51チームがエントリーしています。また、今大会はFISITA(国際自動車技術会連盟)主催の第1回FISITA Formula SAE World Cupも兼ねており、米国、イギリス、オーストラリアの各大会で、優勝もしくはそれに準ずる成績を収めたチームが招待されています。招待チームをあわせ、全54チームで3日間の大会を競い合うことになります。

学生フォーミュラ大会は、クルマの加速、ハンドリング、耐久性といった走行性能に加え、車両コンセプト、設計、製造、コスト、更にはプレゼンテーションスキルも審査の対象となっています。つまり、「モノづくりの総合力」を競うことが大会の目的です。

コストや日程、構造基準など数々の条件を満足しつつ、クルマの商品性や性能の向上を図り、且つ設計どおりに製造することは、まさに実際の自動車業界でも行われていることですが、学生の皆さんは短い期間にこのプロセスを一通り経験することができます。

実行にあたっては多くの障壁に直面するでしょう。しかし、その都度、「何が問題かを見極める努力」と、「問題を解決するための創意工夫」を厭わず、「チームメンバー間の連携」を大切にすれば、きっと打開できると思います。

本大会をとおして、学生の皆さんは、モノづくりや共同作業の難しさ、楽しさ、苦しみ、喜びを味わうと思います。また、実際にモノを見て触れることがモノづくりにとっていかに重要であるかを実感できると思います。このような「思い」や「実感」は是非大切にしたいと思います。将来皆さんが社会に出たときに必ず役に立つものと私は信じております。

前述のとおり、今大会は海外から優秀なチームを招待しておりますが、自動車技術会としては、学生の皆さんに、より高いレベルでのモノづくりの場を提供していくことを目標にしております。今後も国内外ともに学生フォーミュラ大会が発展していくよう、参加チームの皆さんやOBの方々のご協力もいただきながら努力していきたいと考えております。

最後になりますが、参加チームの皆さんのご検討をお祈りするとともに、参加校の関係者の皆様、本大会のスポンサー様、ボランティアの皆様、そして大会の企画運営関係者の皆様に心より御礼申し上げます。